

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理計画 (案)

スケートボードの聖地創造と新たなスポーツ文化の創造を目指して

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理検討委員会

2018年5月30日

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理計画 (案)

スケートボードの聖地創造と新たなスポーツ文化の創造を目指して

1. (仮称) 村上市スケートパークの運営方針について

- ①公共施設として市のスポーツ振興と市民の健康づくり、市民が親しめる施設として環境を整備する。
- ②スケートボードの聖地を目指し、大会開催地・合宿地（練習場所）として定着化とジュニア選手及びトップアスリートの育成、発掘を進める。
- ③国際競技に対応する通年型屋内施設として、スケートボード競技における国内拠点施設の認定を市内体育施設と連携し目指す。

2. (仮称) 村上市スケートパークを核としたスケートボードの推進

第1ステージ（～2020年）	第2ステージ（2020年～）
東京2020オリンピックレガシーの創造	オリンピックレガシーを未来に継承
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大会の誘致（日本選手権他） ➢ 合宿の誘致（国内強化選手・国外選手） ➢ 施設PR事業（世界に向けた情報発信） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大会開催地・合宿地の定着化
<p>※国内拠点施設の認定 (ナショナルトレーニングセンター拠点施設/JOC強化センター)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ➢ ジュニア選手の発掘・育成事業 ➢ トップアスリート育成強化事業 ➢ 学校教育（学校体育）との連携事業 ➢ 市民向け運動プログラム開発事業（大学・総合型スポーツクラブとの連携） 	

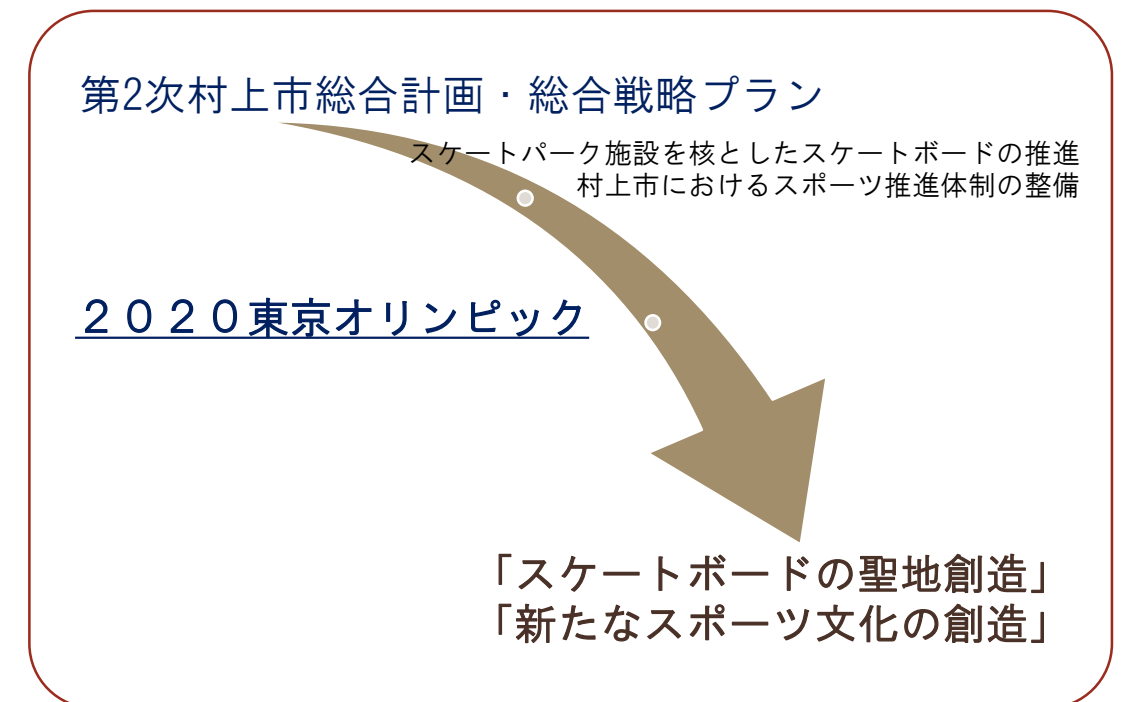
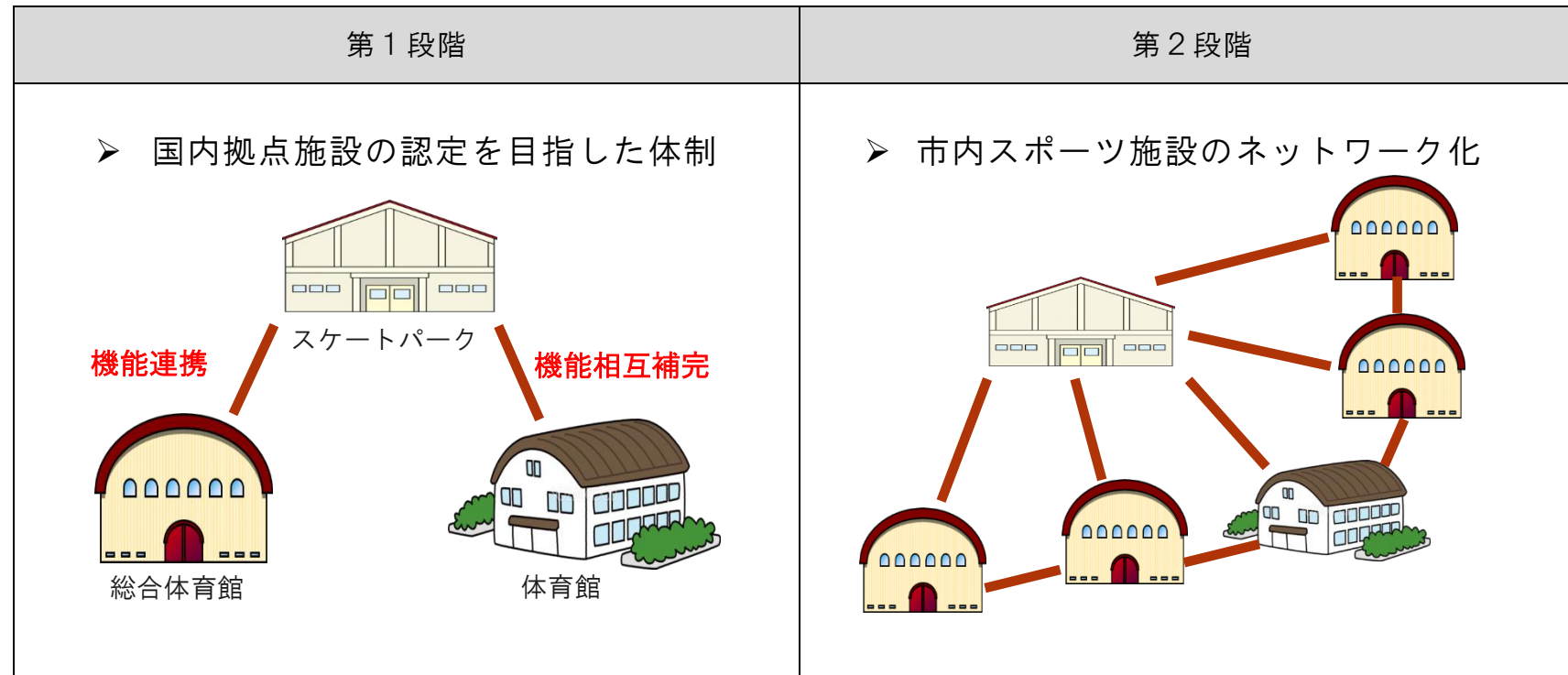


図. 村上市におけるスポーツ振興イメージ

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理計画 (案)

スケートボードの聖地創造と新たなスポーツ文化の創造を目指して

3. 施設の運営・管理



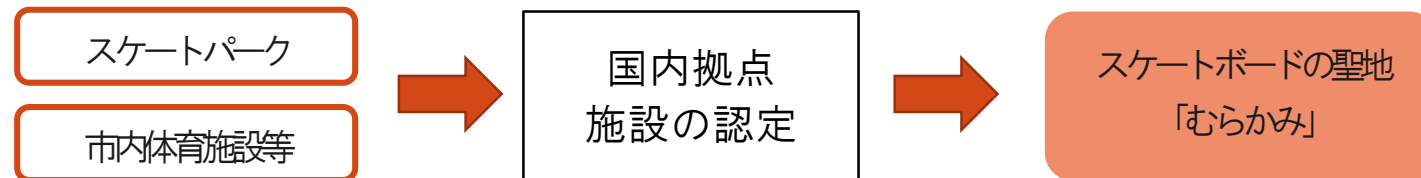
[国内拠点施設の認定]

・オリンピック・パラリンピック競技におけるトップアスリートの強化活動の場を確保するため、既存のトレーニング施設を「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設」として文部科学省が指定。

・指定期間：指定した日から、当該競技が実施される次期オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年度末日まで。

・指定施設は、指定期間内においてスポーツ庁が年度毎に委託する活用事業を実施。（経費はスポーツ庁の予算の範囲内）

※認定手続き、認定要件等は、現在確認中。



(1) 施設の管理運営形態

公共と民間による相乗的効果を地域活性化につなげること及び効率的かつ効果的な事業の展開が行えることを目指し、指定管理者による管理。

(2) 事業者

- ・スケートボードに特化した施設であることから、スケートボード競技に知見を有する団体の関与が必要。
- ・多様化する市民ニーズや施設の様々な利用形態に、効果的・効率的に対応していくこと、スケートボード競技者以外の施設利用を推進するため、市内体育施設の指定管理実績がある事業者・団体の関与が必要。

[主な役割]

- ・スケートボード競技に知見を有する団体：スケートボードの振興（スケートボードに特化した事業推進）
- ・体育施設の指定管理実績がある事業者・団体：施設全体の管理、ニュースポーツの振興

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理計画 (案)

スケートボードの聖地創造と新たなスポーツ文化の創造を目指して

4. 想定される利用者層及び利用形態

[利用者層] 市内外のスケートボード競技者・愛好者（10代を中心とした若年層）

[利用形態]

- ・ 平日：教室や個人単位の練習、学校部活動における練習
 - ・ 土日及び祝日：個人単位の練習、愛好者同士でのグループ利用
- ※スケートボード競技者・愛好者以外の施設利用
- …ボルダリング、スラックライン、ランニングコース

5. (仮称) 村上市スケートパークで実施する事業や施設を活用した取り組み

<実施事業>

- ・ 市主催の大会、教室の開催
- ・ 学校教育（学校体育）と連携した取り組み
- ・ 市民向け運動プログラムの開発

<施設を活用した取り組み>

- ・ 日本選手権等の大会誘致と大会、競技会の開催や合宿の誘致
- ・ ジュニア選手の発掘につながる取り組み
- ・ トップアスリートの育成

6. 想定される利用者層及び利用形態

[利用者層] 市内外のスケートボード競技者・愛好者（10代を中心とした若年層）

[利用形態]

- ・ 平日：教室や個人単位の練習、学校部活動における練習
 - ・ 土日及び祝日：個人単位の練習、愛好者同士でのグループ利用
- ※スケートボード競技者・愛好者以外の施設利用
- …ボルダリング、スラックライン、ランニングコース

[今後、検討委員会において検討していただきたい事項]

- ・ スケートボードの普及に向けた取り組み
(未体験の子どもたち向けの取り組み、教室等)
- ・ 指導者の確保、育成
- ・ 施設の活用策
 - アリーナ施設の活用
 - アリーナ以外の施設の活用
- ・ 地域の活性化につながる取り組み
- ・ 施設に関する情報発信、PR
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

7. 事業及び取り組みの実施主体に関する事項

スケートパークで実施する事業や施設を活用した取り組み（市が主催する事業等）

事業	具体的な内容	村上市	日本スケート ボーディング連盟	村上市体育協会 村上市スポ少年団	総合型地域 スポーツクラブ
市主催大会・教室の開催	競技人口の拡大を図ることを目的とした教室や大会の開催		◎		○
学校教育（学校体育）との連携事業	子どもたちの運動能力と体力の向上を図る事業	◎		○	○
市民向け運動プログラム開発事業	ニュースポーツを取り入れた生涯スポーツのプログラム開発			○	◎
大会の誘致・開催	日本選手権等の大会の誘致と大会開催	◎	○		
合宿の誘致	国内強化選手・国外選手の合宿、オリンピック前の時差調整等	◎ (市内宿泊業者等との連携)	○		
施設 PR 事業	世界に向けた情報発信		○		
ジュニア選手の発掘・育成事業	ジュニア選手の発掘・育成		○	◎	
トップアスリート育成事業	2020東京オリンピックを目指す選手の育成		◎		
競技者・指導者の活動環境整備	競技スポーツの競技力向上を目的とした環境の整備				○

【参考：主な国内大会】

- ・JSF（日本スケートボーディング連盟）スケートボードコンテスト（パーク）：例年6月頃
- ・JSF（日本スケートボーディング連盟）スケートボードコンテスト（ストリート）：例年11月頃
- ・AJSA（日本スケートボード協会）プロツアー：全4～5大会開催・日程未定
- ・AJSA（日本スケートボード協会）アマチュア地区サーキット：日程未定
- ・JRSF（日本ローラースポーツ連盟）全日本スケートボード選手権

(仮称) 村上市スケートパーク運営管理計画 (案)

スケートボードの聖地創造と新たなスポーツ文化の創造を目指して

8. スケジュール (案)

(1) 開館までのスケジュール

- ・平成31年3月下旬：施設完成 (予定)
- ・平成31年4月：竣工式・こけら落とし
- ・平成31年5月：施設供用開始

(2) 事業等スケジュール (年間単位)

事業	2018	2019	2020	2021	2022
市主催大会・教室の開催		→	→	→	→
学校教育 (学校体育) との連携事業		→	→	→	→
市民向け運動プログラム開発事業		→	→	→	→
大会の誘致・開催や合宿の誘致	→				→
ジュニア選手の発掘・育成事業		→	→	→	→
トップアスリート育成事業		→	→	→	→
競技者・指導者の活動環境整備		→	→	→	→
施設 PR 事業	→				→